

鉄道はどうやって高架になるの？

身近なものを使って土木を解説

プレゼンター

(公社) 土木学会関西支部幹事 山本 健彦 (やまもと たけひこ)

講演内容

土木工事の内容を市民の皆さんにご理解いただくために、どのような説明をしたらよいでしょうか。土木学会関西支部では、身近にあるものをうまく活用し、実験を交えながらその手順や原理をわかりやすく説明しています。ここでは、鉄道高架化工事を例として、市民の皆さんになじみのある“プラレール※”を使った説明方法を紹介します。

(説明手順)

1. 鉄道高架化工事がなぜ必要なのか説明します。
2. 工事の手順を説明します。
3. 実際にプラレールを使って、工事の手順を説明します。

(実 演)

1. 高架化工事前の状態を再現します。
2. 工事に電車を通す仮線のための土地を確保します。
3. 確保した土地に電車が走っている横で仮線を造り、電車が止まっている間に仮線に切り替えます。
4. 仮線に切り替えている間に高架橋を造ります。
5. 電車が止まっている間に仮線から高架橋に切り替えます。
6. 仮線を撤去します。



工事説明会の様子



高架になる前の鉄道



高架になった後の鉄道

※「プラレール」は「(株)タカラトミー」の製品です。